



思い出いろいろ
夏祭り
 平成30年8月25・26日

な かつ は ら
 第53号
 発行 仲手原自治会

格段の暑さが続いた夏でしたが今年も恒例の夏祭りが8月25・26日に行われました。このお祭りは篠原八幡神社の例大祭に合わせて篠原地区の他の自治会でも同時に開催されています。

25日の早朝8時に神輿と山車がおかれた自治会館前で、神社宮司による神酒所開きのお祓いが行われ、祭りがスタートしました。この日は仲手原一丁目を、翌26日には二丁目を子どもたちの元気な声とともに山車が巡行しました。

夜には公園に設けられたやぐらに上がった浴衣姿の皆さん

のリードで盆踊りが繰り広げられました。そして子供会や学童クラブ、マザークラブの皆さんが開く夜店では、輪投げやヨーヨーすくい、綿菓子やかき氷と、親子連れや子どもさんたちが集い、盆踊りの音楽とにぎやかな笑い声が響きあう夏まつりならではの盛り上がりとなりました。最後はビンゴゲームが行われ、斉藤会長の挨拶で祭りは終了となりました。

両日とも70人以上の参加があり、日ごろ出会う機会の少ない地域の交流になるとともに子どもさんの夏の思い出になりました。



仲手原の神輿について
 斉藤自治会長インタビューから

今年神輿がきれいになったのに気づかれたでしょうか。神輿は少なくとも70年位前からあり、以前は大人たちが神輿を担ぎ、山車とともに街の中を練り歩いていましたが、ここ数年は祭のあいだ神酒所に置かれたままです。

老朽化のため修理を検討しましたが専門業者に頼むとかなりの金額がかかるとのこと。そこで斉藤会長は、何人かの役員さんの力を借りながら自ら修繕に取り組みました。神輿の金具を取り外し一部は研磨、メッキ落ちしたものにはメッキ塗料を塗布。屋根の破損部分を補修しカシュー塗装を施しました。さらに本体を分解・清掃するとともにニス塗布。最後に神輿札を研磨し、そこに「仲手原」の文字を新たに記載しました。要した費用は約4万円だったそうです。

今後は神輿本体を補強し、飾り綱を取り付けて完成させていく計画だそうです。そしてさらにはオリンピックの開かれる二〇二〇年には担ぎ手を募り、山車とともに神輿の巡行も復活できたら、と抱負を語っていました。



長さんから班
長さんへ発災
時の住人数が
伝えられ、班
長さんが自治
会館に設けら
れた災害対策
本部へ情報を
伝達しました。

11月10日9時、「マグニチュード8.1最大震度7の大地震が発生した想定で、防災訓練が実施されました。」
今回は、はじめに災害基本台帳にもとづいて仲手原住民の安否確認訓練が行われました。
各地域の組



各班・組の集約表提出



新聞紙で作るスリッパ

身の回りのもので簡単に作れるあの手この手を覚えておくといざという時に便利です。作り方は、仲手原自治会のホームページをご覧ください。



応急手当・救出訓練

消火訓練

二丁目公園では、4グループに分かれて、車用ジャッキによる救出訓練、三角巾を使った応急手当訓練、消火器の操作訓練、スプレー缶消火剤による天ぷら鍋火災の消火訓練が行われました。



10月14日、篠原地区健民祭が武相高校グラウンドで、栗田港北区長も臨席して開催されました。前日夜半の雨でグラウンド状態が悪く、開始を一時間遅らせて整備をし、開会しました。

健民祭 総合優勝



使用できるグラウンドが縮小されたため、自治会対抗リレーが中止となったのは残念でしたが、仲手原は玉入れなど多くの競技で優秀な成績を残し、今年度の総合優勝を勝ち取りました。自治会館に優勝カップが飾っております。





親子でペットボトル ロケット作りに チャレンジ!

7月1日(日)
篠原小学校体育館にて



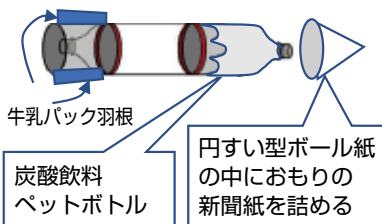
港北区のイベント、ふるさとふれあい祭りの一環として毎年9月にペットボトルロケット大会があります。それに先立って篠原地区では、青少年指導員主催で毎年、大会前にペットボトルロケットの作り方の講習会を行っています。当日の講習会には、午前中から篠原小学校体育館に、173人の子どもたちと保護者の方々が集まりました。

今年で22回目になるこの講習会は、ペットボトルを使うことでサイクルの環境問題を考えるきっかけになったり、飛ぶ仕組みを考えて科学の楽しさに触れ合えます。そして何よりも良い点は、親子で作品を作る機会が持てることです。

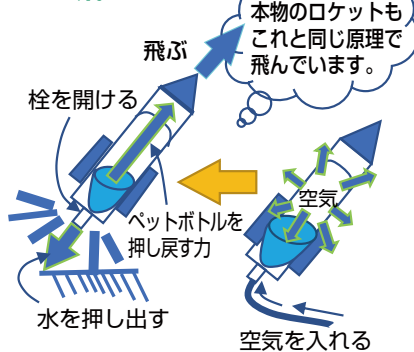
会場を見渡すと子どもたち、保護者共に若干男子が多めの様子。ここは、やはりお父さんたちの出番です。寸法通りにペットボトルをナイフで切ったり、張り付けたり、お父さんたちは、率先して難しい所を担当していました。また準備段階から15ℓ炭酸飲料ペットボトル3本も空けて用意する等、保護者の方々の協力で、子どもたちは楽しくロケットを作り上げました。

できあがるとグラウンドに出て発射台に先ほど作ったペットボトルロケットを設置して飛ばしてみました。ロケットは思った以上に勢いよく水しぶきを上げて飛び出し、グラウンドの端っこの50mあたりまで次々に飛んでいました。

ペットボトルロケットの構造



ペットボトルロケットはなぜ飛ぶの?



大人も子どもたちも楽しむペットボトルロケットは本格的に飛びます。青少年指導員の方々が丁寧な指導してくれますから、是非、来年は講習会を受けてペットボトルロケットを作って飛ばしてみませんか？

本番の飛距離とデザインを競うペットボトルロケット大会は9月2日鶴見川樽町公園で開催する予定でしたが雨のため残念ながら中止になりました。来年に乞うご期待。



工夫して飾り付けするとカッコイイね

自治会だより

12月 「なかてはら」第53号発行

自治会館年末大掃除(15日)
街かど医学塾(15日)

「日の出を見る会」

(23日午前6時30分)

1月 港区駅伝大会(13日)

2月 自治会親睦バス旅行(24日)

3月 新旧役員交代懇親会(2日)

新班長・組長業務説明会(未定)

子供会だより

単独行事

1月 節分豆まき大会(27日)

2月 親子スキー教室(22~24日)

3月 卒業・進級祝い



9月は敬老月間。自治会から次の年齢の方に長寿のお祝いをしました。

77歳(喜寿) 24人、88歳(米寿)

25人、99歳(白寿) 1人の方にそれぞれ3千円のお祝いを、また70

歳15人、75歳24人、80歳30人、85

歳31人、90歳以上62人にはお祝いの品をお届けしました。

これからお元気で健やかに過ごしてください。

過ごしてください。

仲手原グラウンドゴルフ大会

7月8日8時30分より、グラウンドゴルフ大会が二丁目公園において開催されました。開会のあいさつで斉藤会長よりハザード無し、縁石タッチはOK(但し縁石

超えは1ペナルティ)との特別ルールの発表がありました。また今年は大

人・子ども混成チームでの対抗となりました。

大人・子ども混成チーム対抗

なりました。

今年は大

人・子ども混成チームでの対抗

となりました。

今年は大

人・子ども混成チームでの対抗

となりました。

3R夢施設見学会

10月31日、班長さんなど住民の方々40人が参加し、日本赤十字社

神奈川県支部を見学したのち、古紙のリサイクルを行って

いるコアレックス三栄(株)

東京工場を見学しました。

東京工場を見学しました。

東京工場を見学しました。

東京工場を見学しました。

東京工場を見学しました。

東京工場を見学しました。

東京工場を見学しました。

東京工場を見学しました。

東京工場を見学しました。

ヨコハマ3R夢!の3Rとは?

Reduce (リデュース: 廃棄物の発生抑制)

Reuse (リユース: 再使用)

Recycle (リサイクル: 再資源化)

経済産業省



特大トイレトペーパー

秋のふれあいまつり

10月13日11時より、仲手原広場公園および自治会館において栗田

港北区長にもおいでいただき「秋のふれあいまつり」として

「さんま祭り」

(愛と勇気とさんま実行委員会主催)

「福祉バザー」

(篠原地区ボランティア連絡会主催)

「秋のふれあいまつり」

(仲手原自治会主催)

が同時開催されました。

この日ゆるやかな北風が吹いてい

たため、広場公園の

南側の町内はさん

まを焼く香り(煙)

が漂っていました。

その香りを全身

に受けて、神奈川

中学校吹奏楽部・

横浜国立大学の

Baysound Jazz Orchestra ()の演

奏中の13時前に、約60本のさんま

は配布終了)・神奈川大学の

College Sounds Orchestra・更に

横濱音楽倶楽部のHappy 4Time

による演奏が披露されました。

なお、さんま祭りでの寄付金は

宮城県女川町復興支援にあてられ

ます。



今年のさんまは去年より大きい!

自治会館利用のサークル紹介 ゆつくり歩幸会

「ゆつくり歩幸会」は篠原地区に住む人を対象に毎月第1・3月

曜日10時から、会費は1回200円に

て、仲手原自

治会館を拠点

にして篠原周

辺を約1時間

おしゃべりを

しながら、ゆ

つくり歩こう

という集まり

です。これは、高齢者の方々が健

康で生きがいのある活動を展開し

介護予防を目的に発足しました。

同じ所を何度も歩くので今年度

から、年2回乗り物を利用する事

にし、先日は鶴見の花木園へ行

きました。雨の日は会館内でストレ

ッチ・頭の体操・歌・茶話会等して

います。また、年4回専門の先生

の栄養・口腔ケア・介護予防体操

等の講座を行っています。事前の

届けは不要、是非ご参加ください。

《編集スタッフ》

伊東美奈子・植木幹造・押尾泰典・

芳賀宏江・三宅博久・宮田純子

編集責任者: 中村泰雄



鶴見・馬場花木園にて